



誠・力・光

令和6年7月10日

練馬区立北町中学校

学校だより 7月号

## 責任をもって仕事をする

校長 中嶋 雅彦

6時41分の電車に乗り、いつも乗り合わせている人の前に座った。ここ数年続けている通勤風景です。習慣化した生活のリズムは、仕事への緊張を軽減する役割とともに、新たな挑戦などの取り組みを忘れさせてしまうという一面ももっています。本校の教育目標である「責任をもって仕事をする」の重要性を改めて感じます。

○ 学習に励む ○ 自分や他人を大切にする ○ 心身を鍛える ○ 責任をもって仕事をする

この4つが、本校の教育目標です。私は、これらの目標の中で、最後の1つが、少し他のものと違って見えます。生徒が学校生活の中で、行う仕事は、係活動、委員会活動、清掃活動など毎日のように行われています。また、将来子どもたちが担う仕事は、これからどんなに変化しようとも、家庭内の仕事も含め多種多様化したとしても、人が自分の幸せに向かい、他の人と協力しながら責任を全うするためには必要な要素です。

本校の2年生は、7月4日(木)～5日(金)に職場体験を実施します。2学年では、進路学習の一環として、「生きる・いのち」を北町中のテーマとして、この体験活動を位置づけています。生徒に働くことの意義、社会的・職業的な自立について理解させ、体験活動の仕方について必要な知識や技能を身に付けさせる活動です。勤労生産に関して自分のできることを判断し、どのようにすれば多様な他者と協力して実践することができるのかを考えさせます。さらに、勤労観や職業観を深め、進んで勤労生産に関わる活動に積極的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を養います。年度当初の保護者会でご家庭の協力をお願いし、学校での取り組みに保護者の皆様のご理解を頂き、事前学習を充実させてきました。この職場体験を実施し、その後の指導を深めることにより、子どもたちにこれから生きるために必要な資質と能力を身に付けさせていきます。学校での机上の学びを、人と関わり合い活動する実際の社会活動の中でどのように活用すればいいのかを身をもって経験し、さらに学んでいこうとする意欲につなげていかせようと考えています。

また、毎年7月末に本校学区の旧川越街道で行われる「きたまち阿波おどり」など、本校の2学年では、職場体験のみならず総合的な学習の時間を活用し、実際に参加されている地域の連の方をお招きし、地域についての学習活動や阿波おどりの体験学習を行います。これからも地域の皆様の力を生徒の生きる力にするために活用させていただければと考えています。夏休みの活動も含め今後も保護者・地域の皆様のご協力を学校経営に生かしてまいります。